

第116期決算公告

貸借対照表 (2026年3月31日現在)

2026年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
	千円		千円
【流動資産】	3,929,670	【流動負債】	1,669,184
現金及び預金	284,369	電子記録債務	665,872
受取手形	8,144	買掛金	516,293
電子記録債権	483,764	リース債務	81,690
売掛金	1,207,504	未払金	161,306
製品	232,466	未払法人税等	55,939
仕掛品	33,760	未払消費税等	34,118
材料	1,107,396	前受金	9,182
貯蔵品	112,082	預り金	8,296
前払費用	35,805	賞与引当金	136,488
預け金	366,423		
短期貸付金	1,280	【固定負債】	808,820
未収入金	56,221	受入保証金	2,000
その他	455	退職給付引当金	507,661
		役員退職慰労引当金	34,474
【固定資産】	2,591,559	長期リース債務	264,684
(有形固定資産)	2,318,157		
建物	356,055	負債合計	2,478,004
構築物	203,861		
機械装置	1,245,253	純資産の部	
車両運搬具	0	【株主資本】	3,984,449
工具器具備品	30,946	[資 本 金]	231,144
リース資産	5,655	[資 本 剰 余 金]	1,984,466
土地	469,008	資本準備金	1,068,291
建設仮勘定	7,378	その他資本剰余金	916,175
(無形固定資産)	105,855	[利 益 剰 余 金]	1,768,839
ソフトウェア	65,082	(その他利益剰余金)	1,768,839
営業権	40,773	別途積立金	1,190,000
(投資その他の資産)	167,547	繰越利益剰余金	578,839
投資有価証券	115,799		
出資金	100	【評価・換算差額等】	58,776
長期貸付金	5,335	その他有価証券評価差額金	58,776
長期差入保証金	1,783		
長期前払費用	1,789		
繰延税金資産	41,847	純資産合計	4,043,225
その他	895	負債・純資産合計	6,521,229
資産合計	6,521,229		

個別注記表

日鉄神鋼シャーリング株式会社

自 2025年 4月 1日
至 2026年 3月31日

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

①有価証券の評価基準及び評価方法

市場価格のない株式等については、移動平均法による原価法によっております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品及び仕掛品並びに原材料については総平均法に基づく原価法(収益性低下による簿価切下げの方法)によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産については定額法を採用しております。

無形固定資産については定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

リース資産についてはリース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法によっております。

のれんについては、その効果が発現すると見積られる期間(5年)に基づく定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金については債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

なお、当事業年度においては、引当金の計上はありません。

賞与引当金については従業員の賞与支給に備えるため、支給対象期間に応じた支給見込額により計上しております。

退職給付引当金については従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

役員退職慰労引当金については役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

当社は鋼材の切断加工を主な事業とし、製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得し、履行義務が充足されると判断しておりますが、出荷時から支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間であることから、主として出荷時点で収益を認識しております。取引の対価は履行義務を充足してから1年以内に受領しており、重要な金融要素は含まれておりません。

2. 当期純利益額 40,986 千円